

www.techage.com
support.jp@techage.com

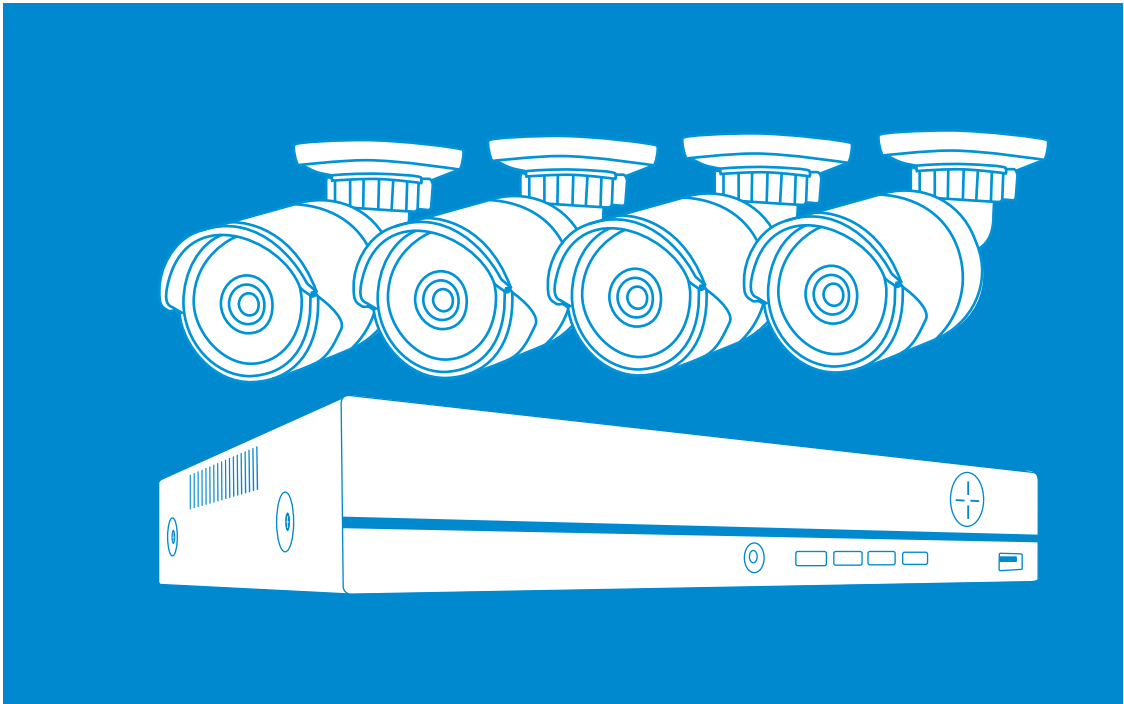




取扱説明書

PoE AI カメラシステム

家と企業をしっかり守る



www.techage.com

目次

- 01. システムをご接続ください
 - 02. スマートフォンで見る
 - 03. PCクライアントソフトウェアで見る
 - 04. ビデオ録画
 - 05. ビデオ再生
 - 06. ビデオバックアップ
 - 07. ユニークな機能
-

ご使用前に

Techage PoE AIセキュリティビデオシステムをご購入いただき、ありがとうございます。Techageは、お客様に高品質で信頼性の高い安全な製品を提供することに力を入れています。

ユーザーガイドは、学習と作業を簡単にするのに役立ちます。詳細と最新のユーザーマニュアルについては、当社のWebサイト（www.techage.com）をご覧ください。このユーザーガイドを読む際に問題が発生した場合は、当社のカスタマーサービス（support.jp@techage.com）をご参照ください。ある質問に対する回答、ビデオ、ソフトウェア、ドキュメントを見つけることができます。

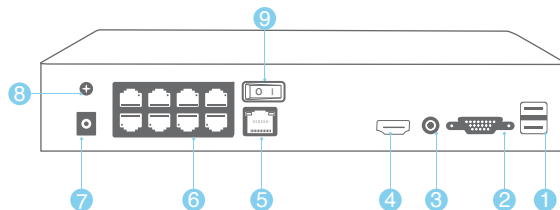
お客様のサポートが必要な場合は、メールでお送りください。24時間以内にお返事させていただきます。メールアドレス：support.jp@techage.com。

ハードウェアおよびソフトウェアのアップグレードのため、このクイックユーザーガイドは予告なく変更されることがあります。

取付前に

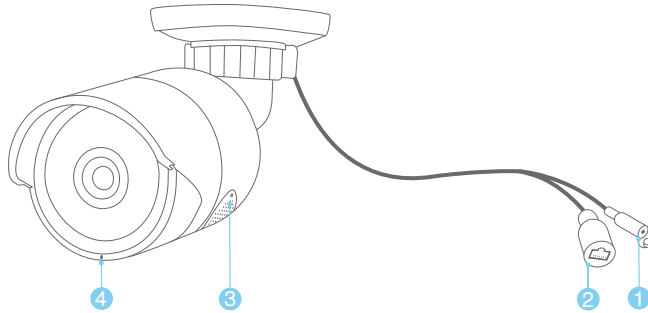
PoEカメラシステムは、プラグアンドプレイプロフェッショナルAIセキュリティビデオ監視システムです。PoE NVRは最大5メガピクセルのカメラをサポートします。設置と配線の前に、すべての製品とコンポーネントをテストすることを強くお勧めします。

PoE NVR



1. 2つのUSBポート
2. VGAポート
3. 音声出力
4. ディスプレイ用HDMIポート
5. ルーターのイーサネットポートを接続します
6. PoEカメラポート
7. 電源ポート：NVR電源アダプタ（48V以上）
8. GND
9. 電源スイッチ

PoE AI カメラ



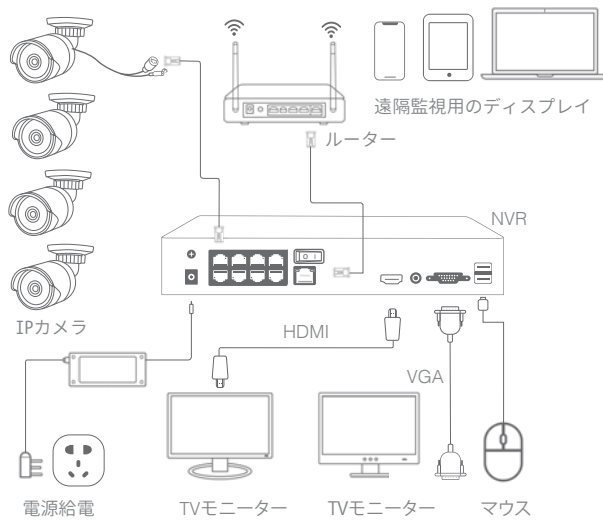
1. DC電源ポート：電源入力12V 1A。
2. RJ45ポート：ビデオ伝送用のイーサネットケーブルとNVRの48V DC電源。
3. スピーカー：双方向通話の場合は、音声の再生とブロードキャストを思い出させます。
4. マイク：音声を拾うために使用します（マイクの位置はカメラのモデルによって異なる場合があります）。

このPoEカメラシステムはスマートAIカメラで、夜に人が検出されると投光器が点灯します。双方向通話と警告音声を再生するためのスピーカがあります。人が検出されると警報音声が出ます。例えば：「Alert area, please leave」、「Hello, welcome!」。(ご注意:工場出荷時のデフォルトとしてオフになっています。)

ヒント：

投光照明のオン/オフおよび警告音に関する詳細設定は、07を参照してください。

01 システムを接続する



1. システムの接続

- 1.1 カメラキットのイーサネットケーブルを使用して、PoEカメラをポートに接続します。
- 1.2 マウス（付属）をNVRのリアパネルのUSBポートに挿入します。
- 1.3 LCDディスプレイをNVRに接続して電源を入れます。
- 1.4 イーサネットケーブルを使ってNVRをルーターに接続します。
- 1.5 電源アダプタケーブルをNVRのDCポートに差し込みます。次に電源アダプタを電源に差し込みます。システムにはDC48V以上の電源アダプタが1つしかありません。NVR専用です。

NVRの電源を入れた後、カメラセット内のすべてのPoEカメラはすでにNVRに対応しています。わずかに数秒でライブビデオ画像がモニターに表示されます。

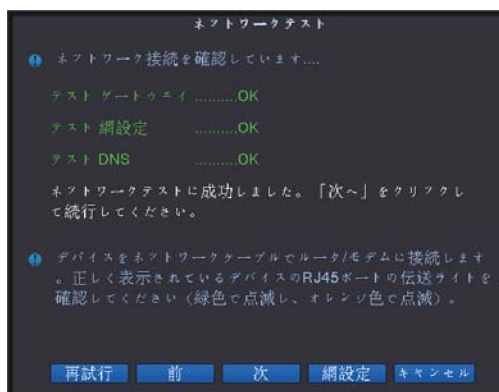
2. NVRをインターネットに接続する（ネットワークに接続されているかどうかをチェックする）

上記の手順の後、システムの電源をいれて、ビデオ画像が表示されます。マウスを右クリックして

「スタートアップウィザード」を選択し、スタートアップウィザードによってネットワークテストができます。「ネットワークテスト」のステップで、「ネットワークテスト」と表示されることがあります。「網設定」をクリックしてネットワーク設定を行い、「DHCP」を有効にしてから「OK」をクリックします。



そして「再試行」をクリックすると、OKと表示されます。そして、NVRがインターネットに正常に接続していることを意味します。



3.1 PoEカメラを追加する必要がある時

- ① PoEカメラをNVRシステムに新しく追加します。
- ② PoEカメラがNVRとの接続に失敗した時、工場出荷時の設定にリセットされた時、もう一度NVRに追加する必要があります。

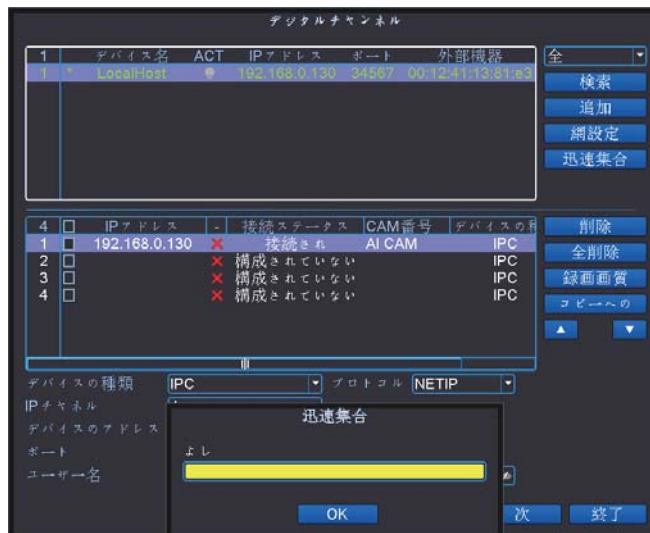
ご注意：

セット内のすべてのPoEカメラはすでにNVRとペアになっています。そのため、NVRの電源を入れると、カメラは自動的にNVRに接続します。再度追加する必要はありません。

3.2 追加カメラの追加方法

イーサネットケーブルを使用して、PoEカメラをNVRのカメラポートに接続し、またはNVRと同じルータに接続されたPoEスイッチに接続します。

ビデオのないチャンネルで「+」をクリックし、カメラを追加すると、同じネットワークに接続されたPoEカメラの検索が開始されます。カメラリストで、すでにNVRに接続されているものが以下のリストに表示され、「接続され」と表示されます。接続されていない新しい追加のものを選択し、「迅速集合」をクリックするだけで、PoE NVRへの追加が開始されます。[OK]をクリックし、適用して終了します。（以下の写真通り）



4. インストール

4.1 カメラの取り付け位置とNVRの取り付け位置を見つけます。

まずカメラの取り付け位置を確認し、次にNVRの取り付け位置を決定する。このようにして、すべてのカメラは、付属のイーサネットケーブルを介してNVRに接続されます。または、付属のケーブルの長さが不足している場合は、追加のイーサネットケーブルを拡張する必要があります。

4.2 カメラとNVRの配線

カメラとNVRの最適な位置を見つけたら、カメラとNVR、およびNVRとルーターの配線作業を開始できます。

4.3 ケーブルを接続し、NVRの電源を入れます。

配線後、イーサネットケーブルを各カメラに接続し、NVRをルータに接続する。NVRの電源を入れます、リアルタイムのビデオ画像が表示され、ビデオ監視が可能になります。

ご注意：

PoEカメラを屋外に設置するときは、防水カバーが必要になります。以下は参考のための図です。



02 スマートフォンで見える

1. NVRをAPPに追加します

ステップ1：アプリをダウンロードする。

app storeまたはGoogle playで「XMEye」を検索してダウンロードします。



ステップ2：アプリにデバイスを追加する

アプリをダウンロードしたら、アカウントを作成し、デバイスのQRコードをスキャンしてデバイスを追加します。自分の個人ページにすることができます。



1. システムの名前。例えば：自宅やオフィスなどの名前を付けることができます。

2. デバイスのシリアル番号は、「スタートアップウィザード」の手順にあります。

すべての操作が完了したら、「検索」をクリックすると、デバイスリストに移動します。



本装置のシリアル番号を選択したり、一度に再生するビデオチャンネルを選択したり、HD（HD）とSD（クリア）の間でビデオ品質を変更することができます。



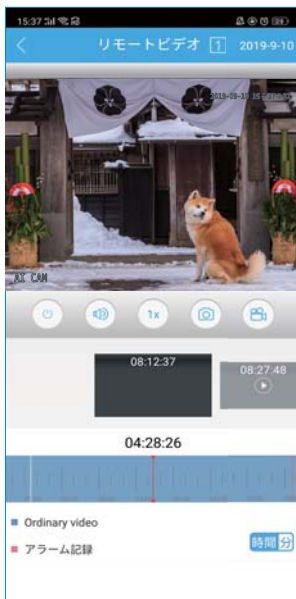
1. デバイス名は自分で設置できます。
2. デバイスのアカウントのユーザー名、デフォルトでは「admin」です。
3. パスワードは、デフォルトではなしなので、空白のままにします。

「追加された」をクリックすると、選択したチャンネルのライブ画像、トランシーバー、スクリーンショット、ビデオが表示されます。



2. スマホで見る

XMEyeアプリで、再生するビデオのチャンネルを選択し、🏠 をクリックしてタイムフレームを変更し、再生するビデオの時間を選択できます。



ご注意：

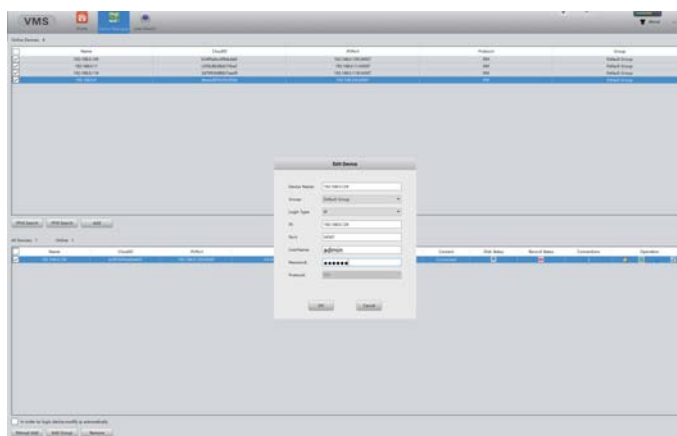
再生中のビデオは高解像度でリアルタイムで再生されており、非常に良いネットワーク条件が必要です。ローカルネットワークで再生することをお勧めします。WANでの遠隔再生は主にネットワークの条件に依頼する必要があります。


03 PCクライアントソフトウェアで見る

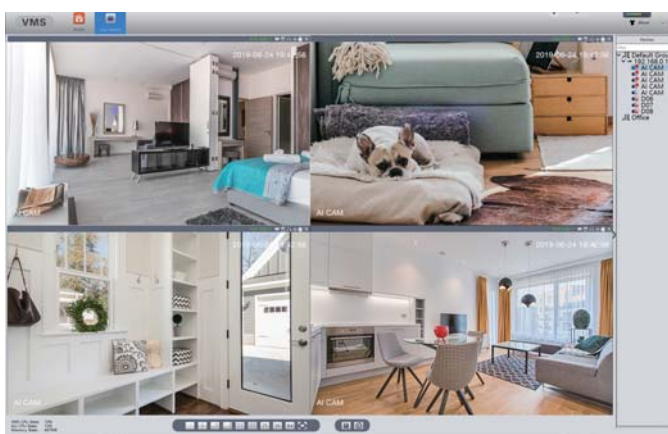
ステップ1： <http://techage.com/download.php>からVMSソフトウェアをごダウンロードください。

VMSソフトウェアを開いたら、「直接ログイン」をクリックします。

ステップ2： デバイスマネージャを選択し、IP4を検索してから、該当するNVRを見つけて選択し、[追加]をクリックします。



XMEyeアプリで、再生するビデオのチャンネルを選択し、 をクリックしてタイムフレームを変更し、再生するビデオの時間を選択できます。



04 ビデオ録画

1. HDDのインストール

HDD内蔵されていない防犯カメラセットを選べば、このシステムでは、3.5インチまたは2.5インチのSATAハードドライブに対応できます。

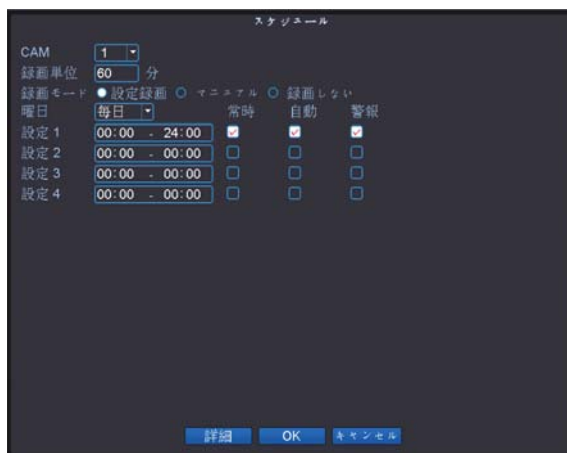
- ①電源コンセントからNVRの電源アダプタを外し、緩めてトップカバーを外します。
- ②NVRからHDDの対応するポートにSATAの電源ケーブルとデータケーブルを接続します。
- ③ハードディスクドライブとDVRを持ち、軽く反転させてから、NVRの穴をハードディスクドライブの穴と位置合わせします。プラスドライバーを使用して、付属ツールを穴にねじ込み、蓋を組み立てます。

ご注意：

録画する前に、新しいハードディスクをフォーマットする必要があります。「メインメニュー」>「管理ツール」>「ハードディスク情報」>「ハードディスク」を選択し、「フォーマットされた記憶」に移動することができます。

1. HDDのインストール

「メインメニュー」>「スケジュール」>常時や自動(動作検出)や警報などのスケジュールを設定できます。様々なチャンネルに設定することができます。



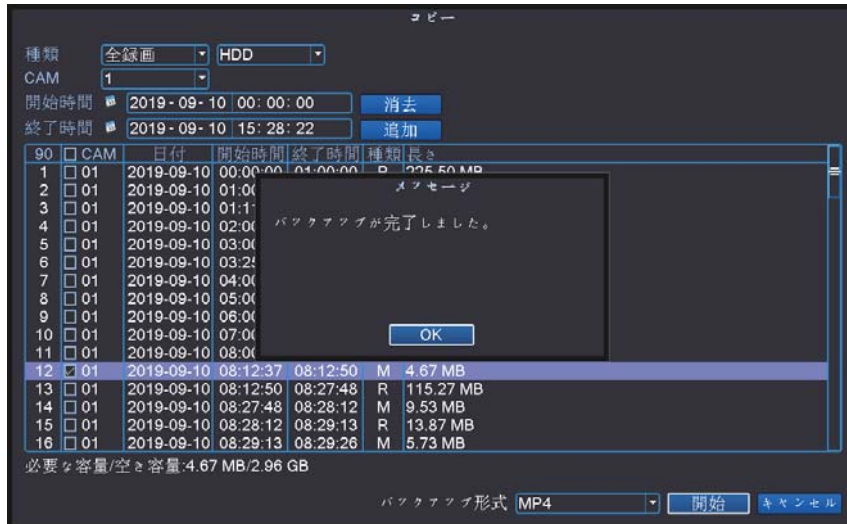
05 ビデオ再生

メインメニュー>録画再生に進み、左下隅で再生方法を選択することができます。スマート検索を選択します。日付を選択し、ダブルクリックして再生するビデオクリップを見ることができます。

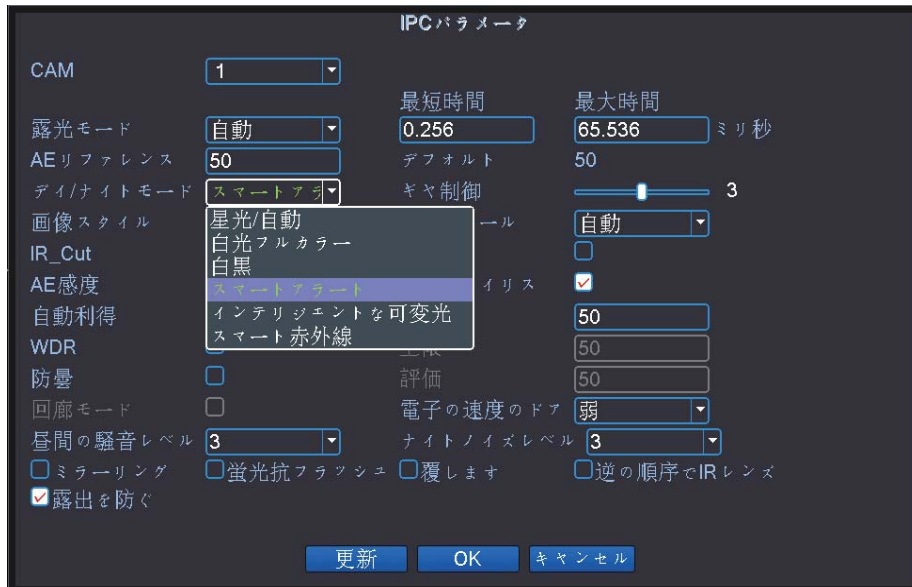


06 ビデオバックアップ

メインメニュー>システム>バックアップに進み、バックアップするビデオを選択してMP4形式のバックアップ形式を選択し、[スタート]をクリックしてビデオをバックアップします。



07 ユニークな機能



1. 投光器の設定

システム内のすべてのAIカメラには投光器が付いており、メインメニュー>システム>IPCパラメータの設定に入り、IPCパラメータから異なるモードを選択して、投光器のオン/オフを切り替えることができます。デフォルトモードは、「スマートアラーム」です。夜間に人体を検出したり、運動を検知したりすると、投光器が点灯します。夜間に人体を検知した後に投光器をオフにする場合は、スマートアラームモードを「スマート赤外線」に変更することができます。

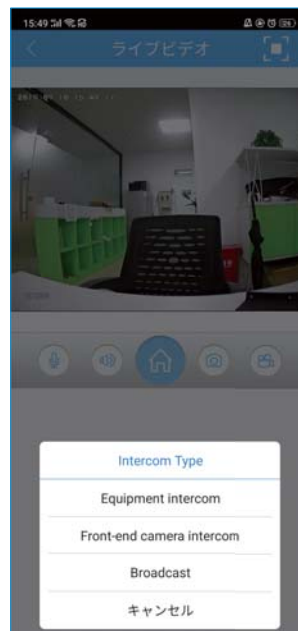
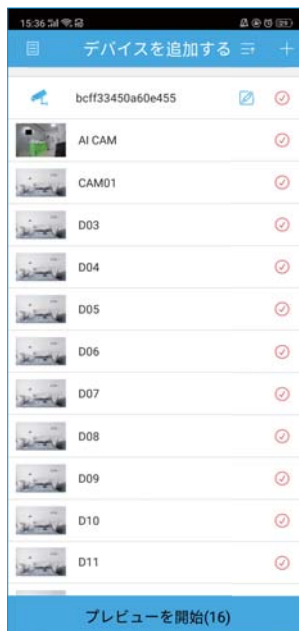
2. 音声警報設定

デフォルトでは、音声提示機能はオフになっており、オンにする場合は以下の手順に従います。メインメニューで「アラーム」>「スマートアラート」>「警告音声を設定するチャンネル」>「IPCアクティブベーション」を選択し、「設定」>「アラーム音」を選択して、人体検出または動作検出の警報時に再生する音声を選択できます。



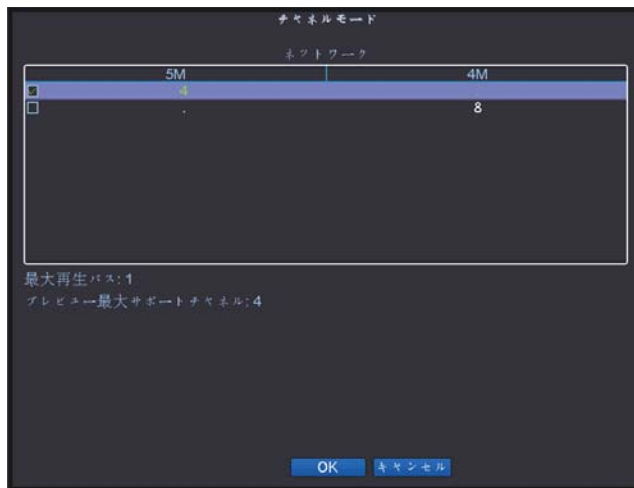
3. 両方向音声

このシステムは、小さな放送システムとすることができます。携帯アプリでは、DVRシステム内のすべてのカメラを選択し、🎤をクリックします。システム内のすべてのスピーカー付きカメラは、音声を再生することができます。



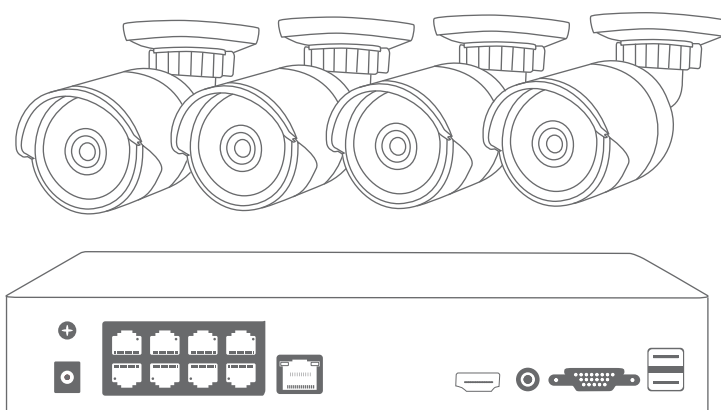
4. NVRのチャンネルを拡張する.

最新のTecage PoE NVRシステムは拡張可能です。4 chを8 chまで拡張することができ、8 chを16 chに拡張することができます。チャンネルタイプは、NVRメインメニュー>システム>チャンネル管理で変更することができます。ご希望のチャンネルを広げることができます。では、PoEカメラのポートを拡張するにはTecage PoEスイッチが必要です。詳細については、<http://techage.com/jp.php>の「POE NVRチャンネルを拡張する方法」を参照してください。



著作権所有。本資料のいかなる部分も、Techageの書面による許可なしに複製することはできません。本出版物中の情報はあらゆる面で正確であると考えられる。

Techageはそれによるいかなる結果にも責任を負うものではない。ここに含まれる情報は予告なく変更されることがあります。このような変更を含めるために、この出版物の改訂版または新しいバージョンが発行される可能性があります。



www.techage.com
support.jp@techage.com

